

中絶反対の十代少女の身元情報に 100 ドル払うと言った民主 主党員が雲隠れ

州議会議員 Brian Sims が、妊娠中絶反対者いじめの末、総反撃を受ける

【訳者注】これは、このところずっと続いている、米民主党の恥ずべき、かつ反理性的な行動の一つである。なぜ彼らは妊娠中絶を、やむを得ない場合があるとは言わず、むしろ奨励するようなことを言うのか？ それは、数十年前まで行われていた、Pro-Life（中絶反対）に対する常識範囲内の Pro-Choice（中絶容認）ではなくなっている。それは、故意に自然（神の設けた秩序）に逆らうことが、彼らの根本動機のように見える。子供相手のセックスでも LGBT でも、このような過激なものになっている。これは**プロ・サタン**というべきもので、狂っているとしか考えられない。「純粹悪」という概念、つまり純粹に神に敵対し、「善（神）を滅ぼす歪んだ喜び」とでもいうべきものを想定しなければならない。我々の内部にそういう暗い喜びがある。ただこれが、一つの大きな党派の気分、一つの国家の気分になったとき、我々は生死を選ばねばならない。神か悪魔かを選ばねばならない。今、わが国を含めて、世界がそういう岐路に立っている。

David Newton, www.neonnettle.com

May 13, 2019



ビデオの一つで、シムズは、生まれなかった赤ん坊のために祈っていた、3人のティーンエイジャーの身元提供者に、100ドル払うと言っている

民主党の州議会議員ブライアン・シムズは、先週、中絶反対の一人の年配の路上カウンセラーと共に、ある中絶クリニックの外で、その映像を流しながら祈っていた 3 人のティーンエイジャーの少女に、ビデオで嫌がらせをしたとき、彼は猛反撃を受けた。

<https://neonnettle.com/tags/abortion->

シムズは、その女性や少女たちの肌の色や宗教信仰を嘲笑し、その上で、彼らを家庭にまで侵略できるように、彼らの住所など個人情報を聞き出そうとした。

そのビデオの一つで、シムズは、そのクリニックの外で、生まれなかった赤ん坊のために祈っていた 3 人のティーンエイジャーの少女の、身元を教えてくれた者には、100 ドルまで出そうと言っている。

しかし、この民主党員の嫌がらせは、多くのプロライファー（反中絶論者）が、彼の侵略に応えて、彼をプロライフの集会に招くに及んで、逆襲を受けることになった。



この選挙された公人は、現在は、オフィスの建物の外に匿われており、ツイッターのアカウントを閉ざしている

関連記事：「NFL のスターが、A・オカシオ・コルテス（民主党議員）が中絶法をこき下ろしたとき、彼女に〈単純な生物学〉のレッスンを行った」

<https://neonnettle.com/news/7426-nfl-star-schools-aoc-with-simple-biology-lesson-after-she-slams-abortion-law>

しかし彼はいま行方不明だ。

シムズの議員としてのアカウントは、今も公衆に開かれてはいるが、5月6日以来、使われていない。

The DailyWire によれば、公衆に対して閉ざす前の、シムズの個人的アカウントの最近のツ

イートのあるものは、プロライファーに向けられていた。

<https://www.dailywire.com/news/47097/democrat-state-rep-who-offered-100-have-pro-life-amanda-prestigiacom>

「はっきり言え、聖書で脅す者たち！ 君たちはわからず屋だ、性差別し、女性蔑視する者だ。私には、君たちのニセ道徳と、君たちの壊れた価値が、ちゃんと透けて見える。# BeReal (現実的になれ)」と、この民主党員のメッセージは書かれている。

もう一つは嘲笑するように、こう言っている——「我々の差別を差別するな。我々いじめる者をいじめるな。我々憎む者を憎むな。-penis (?) Grabbers と Baby Cagers よ」



金曜日、プロライファーたちは、シムズに呼んで、同じ産児制限中絶クリニックに集まった

彼はまた、自分の行動に関して、「弁明」のビデオにあたるものを掲載した。ただし、彼が提出した弁明は、この産児制限医院に宛てただけで、彼が悩ました人々に対するものではなかった。

また、この議員のインスタグラム・アカウントも、5月1日以来止まっている。

金曜日、プロライファーたちが、シムズに応じて、彼が女性や少女たちを悩ましたこの産児制限中絶クリニックに集まったとき、この民主党員は招待されていたにもかかわらず、出席しなかった。

これが予想されていたことだった。そして、プロライフのメディアが、シムズ氏にそのオフィスで会おうとしたときも、彼は断った。彼のオフィス・ビルもガードマンが守っていた。

「我々は、シムズ議員のオフィスを尋ねてやってきた。私のすぐ後ろに、このビルを警護している警官がいるでしょう。これはちょっと皮肉な話です。なぜなら、子供たちや年配の女

性を、このクリニックの傍で攻撃した男から守るガードマンは、いなかったからです。しかし彼自身は、公人として、この警察官のガードを受けているのです」と、アメリカ・プロライフ連合は報告し、こう加えた。

「我々がこの建物に入り、階上へ上がって彼に会おうとしたとき、大衆を自分のオフィスに入れないようにしている彼の様子があった。彼は大衆を自分のオフィスにも上げず、我々は、彼のオフィスが何階にあるかもわからなかった。

「公的に選挙された議員が、警察にガードされ、この大きな州の市民を攻撃し、彼自身の選挙民を自分に合わせないとは、なんと恥さらしなことではないか！」

——以上